

六車流の視点から見た、SCや流通業を成功に導くための本質を概念論で説明！！

『流通とSC 私の視点』のご案内

著者：六車 秀之 (株)ダイナミックマーケティング社⁺⁶代表

好評発売中！



「流通とSC・私の視点」は弊社代表六車秀之がコンサルティング活動や研究視察を通じて感じ得た、または発想した事をさらに分析・解析することで原則化したものをまとめた「ノウハウ集」です。1993年6月から執筆を開始し、15年間で1000を超える視点を皆様にお届けしてまいりました。本書はシリーズ第11集となる最新刊です。流通および経済の様々な出来事を独自の視点からメカニズム的に分析・解明し、さらにノウハウ化するための視点を明確にし、皆様自身が目的を実現化させ成果を生み出すための前提となる要素が詰まった本となっております。ぜひ、お手元に置いていただきたい一冊です。

● B5判 ● 209頁 ● 定価 3,500円(消費税・送料含む)



流通とSC 私の視点 第1～11集 (B5判・各3,500円)

裏面の本書概要もぜひご一読下さい。また、「(株)ダイナミックマーケティング社」もしくは「六車流研」(<http://www.muguruma-ryuken.jp>) ホームページも併せてご参照下さい

----- 切り取らずにそのままFAXしてください -----

■申し込み (個人でお申し込みの方は、所在地に本書の郵送先をご記入ください)

(株)ダイナミックマーケティング社

〒531-0062 大阪市北区長柄中2-5-44

URL: <http://www.dynamic-m.co.jp/>

TEL: 06-6353-6666

E-Mail: DM@dynamic-m.co.jp

御希望の書籍	<input type="checkbox"/> 流通とSC 私の視点 第11集(3,500円)	<input type="checkbox"/> 流通とSC 私の視点 第5集(3,500円)
	<input type="checkbox"/> 流通とSC 私の視点 第10集(3,500円)	<input type="checkbox"/> 流通とSC 私の視点 第4集(3,500円)
	<input type="checkbox"/> 流通とSC 私の視点 第9集(3,500円)	<input type="checkbox"/> 流通とSC 私の視点 第3集(3,500円)
	<input type="checkbox"/> 流通とSC 私の視点 第8集(3,500円)	<input type="checkbox"/> 流通とSC 私の視点 第2集(3,500円)
	<input type="checkbox"/> 流通とSC 私の視点 第7集(3,500円)	<input type="checkbox"/> 流通とSC 私の視点 第1集(3,500円)
	<input type="checkbox"/> 流通とSC 私の視点 第6集(3,500円)	
冊数	冊	円
会社名		
所在地	〒	
電話番号	FAX番号	
E-mail		
(フリガナ) ご氏名		

※お支払い方法:弊社では申込書を受け付け次第「書籍」と「請求書」を郵送いたしますので、貴社のお支払い条件にてお振り込み下さい。(振り込み手数料は貴社ご負担でお願いいたします)

FAX番号：06-6356-1663

『流通とSC 私の視点 第11集』

～本書概要～

「流通とSC・私の視点」の第11集が完成しました。「流通とSC・私の視点」は、私がコンサルティング活動や研究視察で発想し分析・解析の過程で原則化したものをまとめたノウハウ集です。

この「流通とSC・私の視点」は、私が1993年6月から書き始めた基本ノウハウ集で、2010年4月現在1,200回を越え、そのなかから100回単位で特集号として単行本にしているものです。

日本経済のGDPは、1970年代にアメリカに次ぐ第2位になり、以来40年間、その地位を守ってきました。その不動の2位の地位さえ、今年2010年中には中国に奪われることになりそうです。日本のGDPは1991年から約20年間成長していません(これを失われた20年と言います)。それでも、40年前に世界第2位になり、1991年からGDPが成長していなくても現在まで世界第2位を維持していることは、1991年までの日本経済が、いかにすばらしい成果を上げたかということがわかります。

20年間にわたりGDPが成長しなかったこと、そして2010年には中国に世界第2位の座を譲ることは、日本人として「くやしい限り」です。

この20年間の日本経済は、やられっぱなしの屈辱の時代でした。

折しも冬季オリンピック(バンクーバー)で、浅田真央さんが韓国の金妍児(キム・ヨナ)さんに負けて2位になりました。真央さんは2位になった悔しさで涙していました。真央さんは金メダル(世界一)になるため鍛錬に鍛錬を重ねたのに演技でミスしてしまい銀メダルに甘んじたのです。真央さんにとってオリンピックとは、参加することに意義があるものでもなければ、思いっきり楽しむ場でもありません。あくまで頂点を目指すもので、そのために鍛錬に鍛錬を重ねているのです。

日本の政治家や経済人は、現在の日本経済の低落が悔しくないのでしょうか。経済の発展なくして、国債の返済はできません。また、日本人を豊かにすることもできません。

今の日本経済は、戦後の日本を再建し、世界第2位まで押し上げた先輩達の遺産を食い潰しているにすぎません。政治家も経済人も文化人も国民も、何もせずに文句を言っているだけです。

今、日本に必要なのは、日本全体の大改革を経済レベルで行うことです。それには、国を挙げてのスローガンと実施計画が不可欠です。日本は、もう一度、新しい価値観で国づくりをする必要があります。

そのためには、「志」を持った政治家、経済人、文化人そして国民の知恵と熱意ある国民的行動が必要です。「日本国民はもっと知恵を絞り、熱意を持って行動し、もっともっと頑張らなければならないか!!」と、なぜそのように国家は国民に問いかけないのでしょうか。休日ばかりを増やして、国民を怠けものにしてしまう国政は正しいのでしょうか。年間平均すると2.5日に1日の割合で休日があるという休みすぎの現状に対し、これ以上休みを増やして、日本をどんな国に導こうというのでしょうか。

このような日本になって悔しくないのでしょうか。真央さんは、世界一になれなかったこと、そして、わずかとはいえミスしたことが悔しくて涙を流していました。日本人の心に、もはや勤勉や努力の精神は消えたのでしょうか!! 成果が出るために本当に鍛錬に鍛錬を重ねているのでしょうか!! 鍛錬の結果、成果が出なかったら悔しくないのでしょうか!!

国家は、目標に挑戦する精神を育成する教育、努力し働くことを尊ぶ教育、成果を出すことの喜びを感じる教育、国家に奉仕する教育…等を、愛国心をもって実施すべきです。

これからの日本経済は、英知と努力に基づき、創意工夫のある経済活動を行わなければなりません。さもなければ、これから台頭してくる中国人並みの所得(日本の10分の1)と同じレベルに甘んじる覚悟をすべきです。ガンバレ真央さん、ガンバレ日本経済、ガンバレ日本人!!

本書が皆様方の会社のご発展と皆様方ご自身のご活躍に貢献できれば幸いです。